



五十鈴の

一生

R-18

ADULT ONLY

今日も人知れず
艦娘達の悲鳴は
木霊する

もっと強くなって
敵に勝ちたい…

は…？

しかし 悲劇とは
敵との戦いの中だけ
ではない…

ですって……？

軽巡洋艦
五十鈴

冗談でしょ!?
アンタ達は私達を守る
言わば囃

駆逐艦風情は
積極的に死んで
役に立ってなさいよ

何か勘違い
してるんじゃない？

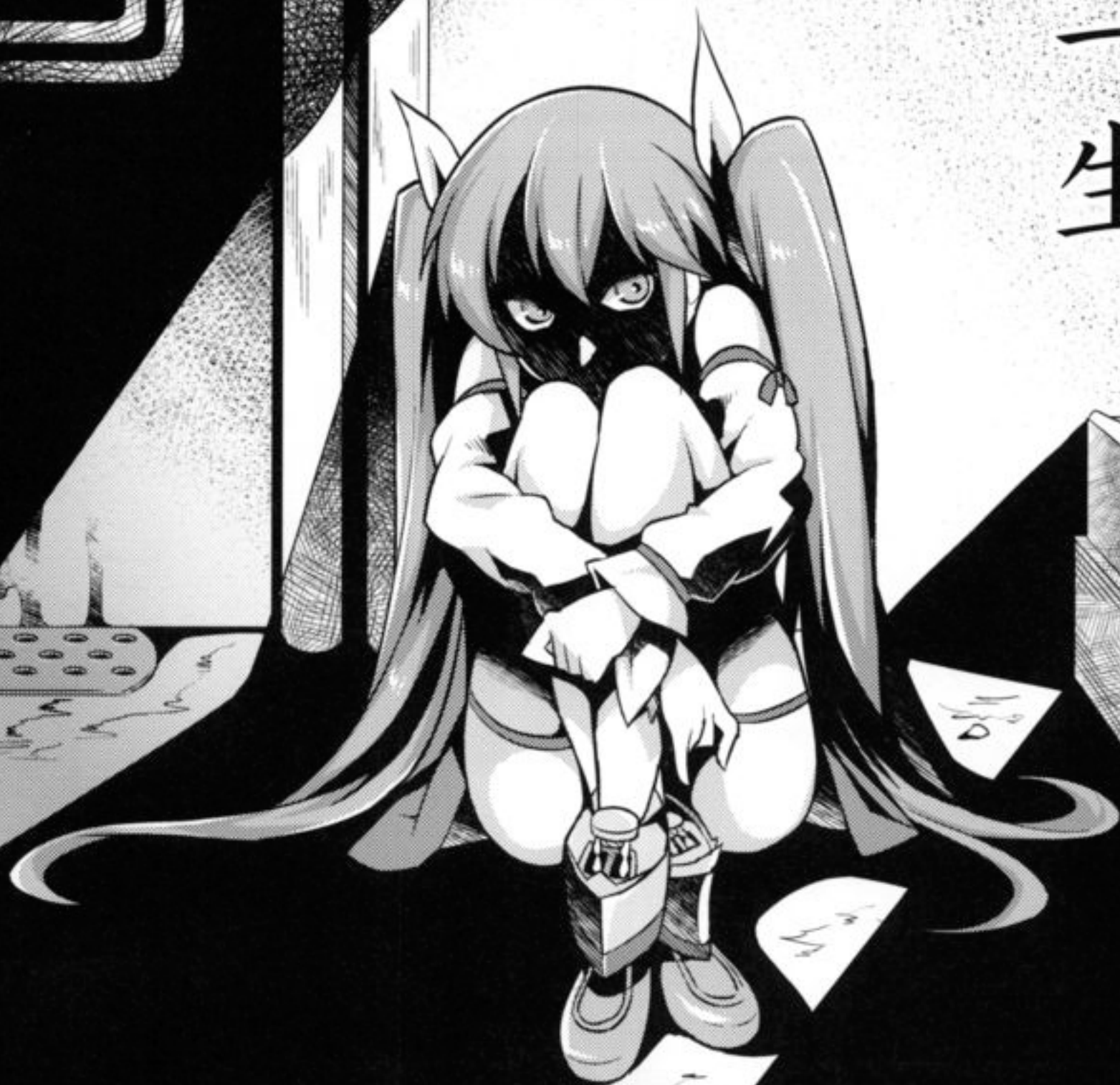
強くなる…？

せいぜい頑張ってね♡

戦争の裏にある暗部に
彼女はまだ
気づいていない

五十鈴の

一生





水雷戦隊の指揮ならお任せ

私は五十鈴

提督を勝利に導くわ……!



お前は素晴らしいモノを
秘めた艦娘だ……!

期待しているからな……!

はいッ!





そこにいたのは傷つき
薄汚れたもう一人の
私だった

…ちよつと
アナタ…!!

危ないで…ッー

クワッ…

その尋常ならざる
風貌に私は呆然と
立ち尽くすしかなかった



……

あと2レベルで…

そう…

あ…はい

あなた…もう改になるのね…



悲しそうな表情を
浮かべた後 工廠の方角に
去っていった

アナタは何人目なの
かしらね…という言葉が
嫌に耳に残った

その言葉の意味を理解するまでに
それほど時間はかからなかった…



提督も喜ぶに違いないわ…!

頑張らないと!



やった!コレで改になった…!

また強くなって活躍できる…

え…

こ…コレ…

…なんですか…？

何ってチンポだよ
チンポ！
何度も言わすな…！

早く来い

お前は第一線から
外れてもらい

今日から俺の秘書艦として
働いてもらう
命令だ！

色々と段取りは
あるんだが…

まずはコイツの味を
覚えてもらおうか…

イヤアツ！
やだあツ…！

こら…暴れるなッ！

大人しく従ってりや
また戦線に
戻してやるからよ

ぐむう

黙って

啜えてろッ！

ううッ



そんな……！

おら……舌を使うんだ……！

そのまま奥まで
飲み込め！



私達は戦う為に
生み出された兵器なのに……



下手くそが！
喉奥でしごくんだよッ

こんな……こんな事……！



これからたっぷり
教えてやる…!

下手くそが!
こうやるんだっ!



どうして…

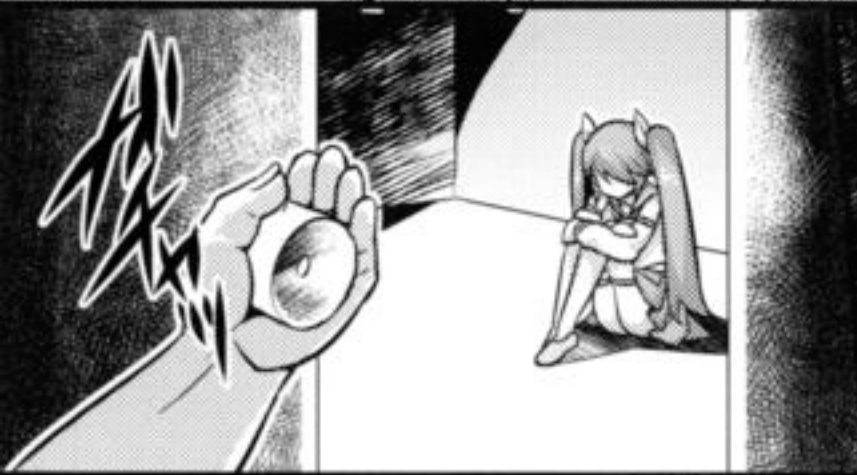


あんなに大切に
してくれてたのに…

くおっ…出すぞツ!
全部飲めっ!



どうして…
こんな事するの…



また
吐きやがって…

まあいい…時間はあるんだ
飲めるまで何度でも
やってやるからな…!



五十鈴♡

おはよ♡

も…もう
こんな事ッ…!!

やめッ

あッ

拒んでも追いつかない
ほどの快楽が与えられ
薄れていく意識

いやあ

ああ

上も下も
連日責められ
続ける私の体…

ずいぶん感じるように
なってきたじゃないか!

もつとよがらせて
やるぞ…オラアッ

はッ

あ…駄目

ダメエ

くふふ…簡単に
イケるように
なってきたな

もはや提督が
何を考えているのが
全くわからない

感度も上がり
整ってきたようだし…

それが…
ただただ怖い…

そろそろ頃合いだな

それから数日後
いきなりの戦力外通告
装備も没収された…

ど…どこへ
行くんですか？

いいから付いて来い

……

これから一体私は……

着いたぞ…

「拾式特別工場」
ある計画の為に特別に
作られたものだ

で……でかい……

拾式

こんな場所が
鎮守府内にあったなんて……

今日まで貧困した
鎮守府を存続できたのも
この施設があったからこそ
できたのだ

そして……

今日から
お前の家だ

え……？

さあ入れ！

きやつ！

て……てーとく……
暗くて何も見えない……

こ……怖いわ……



な!? 誰がファンタ達!

ごだま...離さじや!!

ちよ...ちよ...とじ...

こんな事して
何しようって言うのよ...!!
離さないよ!!



あ...あ...
マイクテスト...



えー長らくお待たせ
致しました

私の出来損ないが
中々準備ができず
皆様には大変なご迷わ...

いいから早くしようぜ
もう待ちきれないぜ

で...出来損ない!?

たはは...
失礼しましたw
それでは...

軽巡洋艦 五十鈴
貫通式を執り行いたいと
思います…!



私がこんなに…!?
何がどうなって…!

んんッ!

いやッ



この時をずっと
待っていたぜ…!

ふふふ…

しゅるん…

!?

!?



もう幾度となくお前らの
初物と肉穴をかき回して
きたわけだが…

!?…まさかッ!

そんな…
提督…!

それだけは…!

おねがい…

いや…

何度やつても
最高だぜツ!







痛いか…苦しいか?

はっ…はっ…

ははははは！
何が起こったか
わからないって顔だな



イッた…痛いッ…!!

いだいよお
おおおッ



何で私が?
どうしてこんな事に?

いつもお前らは
決まって同じ顔をする

んはあ…



そんなお前らの
アホ面を拝みながら
膜ぶち破るのが…!

いあッ

あッ…ん

あああ…やめて…!
動かないでえ…!

最高に愉快だぜえッ!!

状況が飲み込めてないなら
教えてやる!

お前らが改になって
生み出す21号対空電探……

これさえ手に入れば
軽巡洋艦のお前など
用済みよ……!

やはり初物は
最高だぜ……!

……だいたい!

しかし……ただ解体して
いても資材的なメリットは
少ないのでは……

マソコ……
ごわれるう

……
ここでお前らには我が
鎮守府の財源の為に……!

くううよく絞まるな
この子……具合最高……!

ぐぶつ

もつと奥まで……
突く突く突くツ!!

体を張って奉仕してもらおう
任に就いたってわけだ!

……いぎい
もつと
かき回して
あげるからね

バックで処女膜
ぶち破られて今どんな
気持ち……?

つまり……お前らは
骨の髄までしゃぶりつく
されるわけだ……!

……あッがああッ
……あッがああッ

痛ッ





うおおっ...うおおっ...うおおっ

うおおっ!!

出る...出る出る...

まずは一発目:
注いでやっからよ!

うおおっ...こみあげてきた!



ああああ

ああああ

はっはっ

はっはっ

はっはっ



ふー久々だったからか

思ったより
ハッスルしちゃったぜ!



よっと……!



まだ穴つぽこぶち破った
だけだ……へぼんじやねえぞ!

うえ……えッ

これからお前は皆さんに
たっぷり可愛がってもらい
稼いでもらうんだからよ

ぎやはははッ!

いたい……もおやだあッ



これは何かの間違いよ……!



うう……この子
かなり具合いいぜ!

たまらん……



オラッもつと喘げ!

んこおおッ!

うるせえ
少し黙ってろ

全部のめえ!

すげえ絞まる!

私は期待のエリート
だったはず……
こんな扱い……!



本日は本当にお疲れ様でした

今日の会も皆様に
支えられたからこそ
実現できたというもの

来月も会の開催を
予定しておりますので……

……おい コイツ
どうすんだ？
廃棄？

いや
また変態趣味で
使うんだと

うは……またかよ……

こんなの……嘘よ……

あッ
あッ

空いてる部屋に
監禁しとけ

それから私の生活は
まさに地獄だった……



監禁から
十二日目

なあアンタ
新入りの五十鈴
抱いたか？

あッ！

あッ！

うッあッ

んッ



同じ艦娘でも
アイツは別格に
イイらしいぜ？

ああッ

んあッ

それに来たばっか
で元気だしな

あッ
あッ
あッ
あッ

おいやりすぎんなよ
俺たちまで回ってくる前に
のびちまうじゃねえか

10回…20回は
犯ったか？

朝っぱらから犯りっぱなし
だからな！

おお…
また出るう…！

おい早く
変われよ…！

あちゃー…
言わんこつちやない
またおれか…

こうなっちまったら
マグロだからな！

しやーない…
気付けしてやれ！

来る日も来る日も
途切れること無く
私を犯しに来る男達

反応薄くても
中はトロトロだぜっ！

私がどう扱われようが
入渠はさせてもらえず
息ができねえってか！？

もうすぐ終わらせて
やつからよおッ！

もっと奥まで
責めてやれ！

うう…出るっ！

意識の有無に関わらず
一日中姦され続けた

一体いつまで
こんな地獄が続くの…

おらあッ
全部飲み干せ！

夢なら…

覚めてよ…

報告します

先日打ち上げられた
艦娘は軽巡洋艦
五十鈴と判明

外装に傷みがひどく重症
骨組が何本か
やられていました

工作艦の調査に
よると……

……膣部、腔内などに……
多量の人間の精液とされる
成分が出ました。

特徴として
その五十鈴には
部位欠損として……

……

片方の眼球が……
無かったそうです

……くせえくせえ
ドブ臭えゲスな提督達の
匂いがプンプンするな……

……
これより我が舞鶴は
この不届き者達の
調査を開始する……！

発行:コミックマーケット86

発行日:8/17

発行サークル:campanula

発行者:akihazama

メール:akihazama_campanula@yahoo.co.jp

印刷所様:ねこのしっぽ

NEXT

「五十鈴の一生 -NO MERCY-」
にもう少しだけ続きます。